

外洋特別規定発行にあたって

- (1) 外洋特別規定 2022-2023 は、World Sailing（国際セーリング連盟）が発行する OFFSHORE SPECIAL REGULATIONS 2022-2023 を公益財団法人日本セーリング連盟がセーラーおよび連盟と関係する団体のために日本語訳したものであり、外洋特別規定に関わる国内規定（OSR 国内規定）とともに発行する。
- (2) 外洋特別規定では、英文が正文であり日本語訳は参考訳である。OSR 国内規定は日本語がそのまま正文である。
外洋特別規定の翻訳にあたっては、なるべく原文に忠実に翻訳したが、原文の意味を正確に日本語で表現するために意識した箇所もある。また、原文に改訂が無かった場合でもより適切な日本語表現の為に訳文を変更した箇所もある。
- (3) OSR 国内規定に関連する外洋特別規定参考訳の該当項目の左端には破線の印をつけてある。
- (4) 外洋特別規定は適用期間中に World Sailing により改訂が行われた場合は、なるべく早い機会に日本語参考訳も更新される。
- (5) 外洋特別規定の日本語参考訳はいつでも訂正されることがある。
- (6) OSR 国内規定はいつでも改訂されることがある。
- (7) 前記 (4) (5) (6) における最新の規定は次のウェブサイトに掲載される。
<http://www.jsaf-anzen.jp/1-1.html>
- (8) 外洋特別規定 2022-2023 の適用期間は 2022 年 1 月 -2023 年 12 月であるが、日本国内においては 2024 年 3 月までの使用も認める。
- (9) 本書の一部または全部を転載する場合には、事前に日本セーリング連盟の承認を得なければならない。



APPENDIX B

SPECIAL REGULATIONS for inshore racing

Special Regulations for inshore racing are intended for use in short races, close to shore in relatively warm and protected waters where adequate shelter and/or effective rescue is available all along the course, held in daylight only.

Part A Basic

Regulation	Item
1.02	Responsibility of Person in Charge
1.02.1	Under RRS 3 the responsibility for a boat's decision to participate in a race or continue racing is hers alone. The safety of a boat and her crew is the sole and inescapable responsibility of the Person in Charge who shall do his best to ensure that the boat is fully found, thoroughly seaworthy and manned by an experienced and appropriately trained crew who are physically fit to face bad weather. The person in charge shall also assign a person to take over his responsibilities in the event of his incapacitation.
2.04.1	All equipment required by OSR shall:
a)	function properly
b)	be regularly checked, cleaned and serviced
c)	if it has an expiry date, it will not have exceeded its expiry date whilst racing
d)	when not in use be stowed in conditions in which deterioration is minimised
e)	be readily accessible
f)	be of a type, size and capacity suitable and adequate for the intended use and size of the boat.

付則 B
インショアレース用特別規定

インショアレース用特別規定がその使用を意図するレースは、コースの全域で十分な避難所とおよび / または効果的な救助が利用できる、比較的温暖な囲まれた沿岸で行われる、日中のみの短いレースである。

パート A 基本項目

規定	内容・品物
1.02	艇責任者の責任
1.02.1	RRS 規則 3 によるとレースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。艇と乗員の安全を確保することは、艇責任者の唯一の避けられない責任である。艇責任者は、艇が発見されること、艇が十分な耐航性を有すること、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ経験豊富な乗員を配置すること、に最善を尽くさなければならない。さらに、艇責任者は責任を全うすることができない場合、艇責任者を引き継ぐ者を指定しなければならない。
2.04.1	OSR が要求する全装備は以下の通りであること：
a)	適切に機能する
b)	定期的に点検され、清掃され、維持されている
c)	有効期限がある場合、レース中に有効期限を超えない
d)	未使用時には劣化が最小になるような状態で保管されている
e)	すぐに使用できる場所にある
f)	艇の大きさや使う目的に対して、適切で十分な種類、サイズ、容量である

WORLD SAILING OFFSHORE SPECIAL REGULATIONS Appendix B

3.02	Watertight and Structural Integrity of a Boat A boat shall be essentially watertight and all openings shall be capable of being immediately secured. Centreboard, daggerboard trunks and the like shall not open into the interior of a hull except via a watertight maintenance hatch with the opening entirely above the Waterline
------	---

Part B Portable Equipment

A boat shall have:

Regulation	Item
3.23	one strong bucket with a lanyard and of at least 9 litres (2.4 US Gal) capacity
3.24	one compass (a hand-held is acceptable)
4.05	one fire extinguisher required if electrical system, engine or stove on board
4.06	one anchor
4.22.3	a lifebuoy with a drogue
4.22.7	A heaving line, no less than 6 mm (1/4") diameter, 15 - 25 m (50 - 75') long, readily accessible to cockpit
4.25	A strong, sharp knife, sheathed and securely restrained shall be provided readily accessible from the deck or a cockpit.

Each crewmember shall have:

5.01.1	A personal flotation device which shall: (a) be equipped with a whistle (b) clearly marked with the boat's or wearer's name (c) if inflatable, regularly checked for air retention Unless otherwise specified by a boat's applicable class rules or by sailing instructions, personal flotation devices shall have at least 150N buoyancy, arranged to securely suspend an unconscious man face upwards at approximately 45 degrees to the water surface.
--------	--

3.02	<p>艇の完全な水密性</p> <p>艇は基本的に水密であり、そして全ての開口部は即座に水密確保される。センターボード、ダガーボードのトランクなどは、確実に喫水線より上に開口をしている保守ハッチを除き、艇体の室内側に開口してはならない</p>
------	---

パート B 携行備品

艇に装備：

規定	内容・品物
3.23	9リットル（2.4US ガロン）以上の容量で、ラニヤードが付いた、頑丈な作りのバケツ 1 個
3.24	コンパス 1 個（手持ちも可）
4.05	電気系統、エンジンまたはストーブ（炊事コンロ）を搭載する艇は消火器 1 個
4.06	アンカー 1 個
4.22.3	ドローク付きのライフブイ
4.22.7	コクピットですぐに使える、直径 6mm (1/4 インチ) 以上で長さ 15 - 25 m (50 - 75 フィート) のヒービングライン
4.25	デッキまたはコックピットからすぐに使える位置に、鞘に収められ安全に保管された堅牢で切れのよいナイフ

各乗員が装備：

5.01.1	<p>個人用浮揚用具の条件は：</p> <p>(a) 笛が装備されている</p> <p>(b) 艇名か着用者の名前が明記されている</p> <p>(c) 膨張式の場合、空気保持の定期確認</p> <p>他の適用クラス規則または帆走指示書で指定されない限り、個人用浮揚用具は 150 ニュートンの浮力を有し人の顔を水面上約 45 度に上向きで保持できなければならない</p>
--------	--

OSR 国内規定 - 外洋特別規定に関わる国内規定
付則 B インショアレース用特別規定【抜粋】

付則 B	OSR 国内規定：青字部分
5.01.1	個人用浮揚用具の条件は： (a) 笛が装備されている (b) 艇名か着用者の名前が明記されている (c) 膨張式の場合、空気保持の定期確認 他の適用クラス規則または帆走指示書で指定されない限り、個人用浮揚用具は 150 ニュートンの浮力を有し人の顔を水面上約 45 度に上向きで保持できなければならない あるいは、国土交通省型式承認 TYPE A か同等品。または ISO12402-2(Level 275) /-3(Level 150) /-4(Level 100) /-5(Level 50) いずれかの適合品でなければならない。

外洋特別規定 2022-2023
OSR国内規定
許可無く複製を禁じます
第1版-20220215

ホームページ



フェイスブック



発行 公益財団法人 日本セーリング連盟

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 902号室
tel.03-6447-4881(代表) fax.03-6447-4882

外洋安全委員会

Eメール anzen-offshore@jsaf.or.jp

ホームページ <http://www.jsaf-anzen.jp>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jsafgaiyouanzen/>